

出羽島のカツオ・マグロ漁と機付帆船第壱号蛭子丸の航海日誌

磯本宏紀¹

[Hironori Isomoto : Skipjack and tuna fishery by Teba Island fishermen and the ship's logbooks of Daiichi Ebisu-maru]

はじめに

徳島県立博物館では、「航海日誌及機関日誌」という資料を、民俗資料(F002226)として所蔵している。この資料は、昭和7年(1932)～12年(1937)にかけてほぼ連続して書かれていたカツオ・マグロ漁船の航海日誌および機関日誌、計10冊である。既製の「発動機船用機関日誌」「船用航海日誌」の冊子に、航海と漁撈、機関の責任者がその記録を書き込んでいくものである(図1・2)。牟岐町出羽島の船主および船員が乗り込んだカツオ・マグロ漁船による、昭和初期の航海と漁撈の記録である。また、当時関東から東北を拠点として広域に漁撈活動を展開していた記録である。

この資料については、当館部門展示「阿波の遠洋漁業」(2012年4月3日～7月8日)において展示し、磯本(2012)ではその資料の概要について簡単に紹介した。しかし、当該資料は連続した記録であり、その連続して書かれた内容を読み解いていくところこそ資料活用の最大の意味がある。展示や短文での紹介では不十分なため、本稿により再度整理し、紹介したい。

なお、この当時、出羽島をはじめとした阿波、土佐のカツオ船は、関東から東北の漁港を根拠としてカツオ漁を行っていたことが、岩手県釜石市での当時の聞き取り調査により記録されていた(川島, 2005: iv～xvi)。出漁先においてもその存在が把握されていたといえる。では、その実態がどうであったかが問題になる。そうした具体例を把握するために当該資料は適しているといえよう。

本稿では、第壱号蛭子丸の航海日誌を読み解くことにより、昭和初期のカツオ・マグロ漁船の漁撈と航海の状況を連続的に把握し、その主な内容を紹介する。とくに、1年間の漁撈サイクルについて資料から把握することを目的として記述する。なお、筆者らは、出羽島においてカツオ・マグロ漁をはじめとした遠洋漁業に関する聞き取り調査を実施している。資料の説明を補完するため、聞き取り調査による成果も一部利用するものとする。

したがって、本稿では以下の構成をとる。1章では出羽島の近代カツオ漁の概要を記述し、航海日誌の記された当時の出羽島のカツオ・マグロ漁業の背景を概説する。2章では当館所蔵資料である機付帆船壱号蛭子丸の「航海日誌及機関日誌」の資料の全貌と資料概要を、3



図1 「航海日誌及機関日誌」の一部

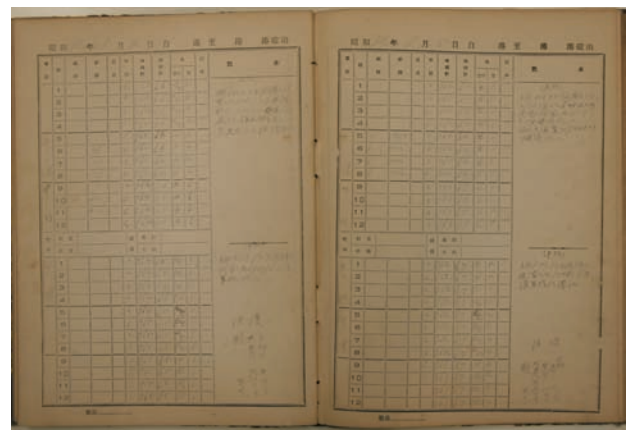


図2 昭和12年1月4・5日の記録

2012年12月10日受付, 12月28日受理.

¹ 徳島県立博物館, 〒770-8070 徳島市八万町文化の森総合公園. Tokushima Prefectural Museum, Bunka-no-Mori Park, Tokushima 770-8070, Japan.

章では航海日誌の記述から昭和初期の出羽島カツオ・マグロ漁船の1年間の漁撈サイクルについて記述し、その詳細について読み解いていく。

なお、本稿は、平成22～23年度に出羽島において実施した徳島県立博物館課題調査「徳島県の離島における図像民俗誌作成のための調査」の成果報告の一部である。

1 出羽島のカツオ漁

出羽島は江戸時代終わり以降、沖合のカツオ漁を中心とする漁業を主生業とする島として知られてきた。明治期にはすでにカツオ漁は出羽島の一大産業であった。漁が多く仕事が多かった出羽島に関して、徳島県漁業史編さん委員会(1996)には、次のような記述がある。

本郡内山間部ヨリ男子ヲ雇入レ漁業ヲ手傳セシムルモノアリ、多クハ十歳ヨリ十五六歳迄ノモノニシテ総数二十七、八人アリ恰モ家族ノ如ク待遇スルユヘ雇主トノ関係円満ニシテ、壮年ニ達スルヤ或ハ帰郷シ或ハ引続キ本當ニ止マリ漁業ス



図3 出羽島に建てられた「山村雪太郎君功績之碑」

として、山間地より乗組員を受け入れ、「家族ノ如ク待遇スル」場合があった。それだけ漁業における雇用と漁獲高に長けていたといえる。一方で、明治20年前後にはカツオ漁は不振で、兵庫県、和歌山県に多くの出稼ぎ者を出していた(徳島県漁業史編さん協議会, 1996: 486-487)。反面、漁業の不安定さがわかる。

そうした状況が一転したのが、大正3年の「大正沚」の発見である。「阿波沚」「土佐沚」とも呼ばれた沖合の岩礁地帯のことで、ここで漁を行ったカツオ船が大漁旗を掲げて満船で帰ってくる。カツオの時期を過ぎていても、連日満船にして帰ってくる。ついに徳島県による調査が行われ、そこに大きな岩礁があることがわかった。

この漁場に目をつけ、徳島県に調査を依頼したのが、山村雪太郎であった。その後の出羽島にカツオの豊漁をもたらした人物として、「阿波沚」発見者として顕彰碑が建てられる(図3)。それだけ、その後の出羽島の生業にカツオ漁は大きな影響を与えたといえる。

大正期の出羽島では、カツオ船の船主は出羽島の住民を船員とし、船主と乗子の関係が構築されていた。そうしたカツオ船を生業とする島の社会的基盤として、「歩」の慣習があった。最盛期には12隻あったカツオ船は、それぞれが組を形成していた。組内の男性には、そのときの乗船の有無にかかわらず、カツオ漁の漁獲から決まった割合の配当が与えられるというものだった。組内に男性が生まれると、小学校を卒業するまで一人前の1分の配当を、小学校を卒業するとカツオの餌となるイワシをとる作業につくため、3分、17、8歳でカツオ船に「かじ子」として乗り、8丁櫓の漕ぎ手として5分を、20歳くらいで一人前として認められ、年老いて下船すれば3分の配当になる(牟岐町史編集委員会, 1976: 613-614)。

乗子は生まれたときから乗り組むカツオ船が決められ、船主も組内から継続して船員を確保することができた。こうした船主と船員との結びつきは強く、出初めといって出港前夜に船主の家に船員を集め、宴を催していた。家族、親族の延長線上にカツオ船の労働組織があったと捉えることができよう。

「歩」について、現在聞き取り調査から確認することは困難であるが、それを継承した習俗を確認できた。昭和20年代には同組のカツオ船の船主、漁撈長をオヤとする拾い親の慣行があった。生まれて間もない子を道の辻に「捨て」捨ててもらってコにしてもらい、同時にそのコの名付けのオヤとなるのである。船主や漁撈長などの幹部と乗子とによる擬制的親子関係である(磯本, 2004: 166-167)。

いずれにしても、近代出羽島におけるカツオ船は核と

なる生業となり、社会生活や人生儀礼にいたるまで、その基盤となっていたのである。さらに、マグロ延縄漁へも漁法を広げていく。こうした経緯の中、戦後出羽島でも、カツオ・マグロ漁を中心とする沖合・遠洋漁業を現金収入の中心にすえた生業が展開されることになった。

2 機付帆船第壱号蛭子丸の「航海日誌及機関日誌」の概要

先述の背景の中、資料中に登場する蛭子丸が建造された。この機付帆船第壱号蛭子丸は、船籍港を西宮市、船主および機関長住所を牟岐町牟岐浦字出羽島とする漁船で、神戸市阪神鉄工所で製造され、昭和7年9月に竣工したことが書かれる。総トン数77.33トン、120馬力、「近海航路第一区」を航路定限としている。

この資料について、10点の資料番号順に以下に概要を列記する。

- ①「発動機船用機関日誌」
昭和8年1月23日～4月21日
- ②「船用航海略日誌」
昭和8年5月16日～昭和9年3月23日
- ③「発動機船用機関日誌」
昭和9年5月23日～8月9日
- ④「発動機船用機関日誌」
昭和8年5月21日～5月30日、
昭和8年10月16日～12月22日

- ⑤「船用航海略日誌」
昭和7年11月5日～昭和8年5月15日
- ⑥「船用航海日誌 略式」
昭和10年6月4日～昭和11年2月24日
- ⑦「船用航海日誌 略式」
昭和9年3月24日～11月28日
- ⑧「船用航海日誌 略式」
昭和9年11月29日～昭和10年6月3日
- ⑨「発動機船用機関日誌」
昭和9年1月1日～5月22日
- ⑩「船用航海日誌 略式」
昭和11年6月29日～昭和12年3月20日

「航海日誌」と「機関日誌」があり、その記載内容は異なる。「航海日誌」には、航程、針路、時差、天候、晴雨計、寒暖計、風位、風力、汚水の項目が1時間ごとに設けられ、そのほかに記事として午前、午後の記述欄がある。「機関日誌」も同様に1時間ごとに欄が設けられるが、当直員、平均回転数、燃料供給程度、调速機調整程度、循環水温度、機関室温度、ジャケット冷却水温度、蒸発器水量程度、洗浄機水量程度のほか、重油、軽油、マシン油など積載と残量などを記載する欄がある。これに加えて、日々の漁や航海の記録が記事として書かれることになる。

これらの日誌から、1年間を通じての漁撈活動を把握することを試みたい。出羽島のカツオ・マグロ漁船やその船員たちが、どのような生活サイクルの中に漁船乗船を位置づけていたかを実態として把握するためである。

表1 第一蛭子丸乗組員名簿（昭和8年10月15日～昭和9年7月15日）

No.	住 所	生 年	役 職	給 料	摘 要
1	牟岐町牟岐浦出羽島		船 長	75 円	利益配当
2	牟岐町牟岐浦出羽島	明治43年	機関長	70 円	利益配当
3	牟岐町牟岐浦出羽島	明治43年	水夫長	50 円	利益配当
4	牟岐町牟岐浦出羽島		水 夫	40 円	利益配当
5	牟岐町牟岐浦出羽島		水 夫	40 円	利益配当
6	牟岐町牟岐浦出羽島		水 夫	40 円	利益配当
7	牟岐町牟岐浦出羽島	明治41年	水 夫	40 円	利益配当
8	牟岐町牟岐浦出羽島	明治39年	水 夫	40 円	利益配当
9	牟岐町牟岐浦出羽島	明治43年	水 夫	40 円	利益配当
10	牟岐町牟岐浦出羽島	明治42年	油差長	45 円	利益配当
11	牟岐町牟岐浦出羽島	大正2年	油 差	45 円	利益配当
12	海部郡浅川村	大正2年	油 差	45 円	利益配当
13	牟岐町牟岐浦出羽島	大正元年	水 夫	40 円	利益配当
14	牟岐町牟岐浦出羽島	明治44年	水 夫	40 円	利益配当
15	牟岐町牟岐浦出羽島	大正5年	水 夫	35 円	利益配当
16	牟岐町東		水 夫	40 円	利益配当

そのため、ほぼ連続する1年間の航程を読み取ることのできる箇所を選択し、次章において検討する。

なお、④の「発動機船用機関日誌」には、昭和8年10月15日から昭和9年7月15日までの乗組員名簿が記載される。氏名を伏せた形で表1に整理した。16名の名前が記載され、そのほとんどが出羽島出身者で占められている。ほかに各1名ずつ「浅川村」「牟岐町東」の出身者が乗る。年齢構成は、把握できる範囲で明治39年生まれの者が最年長で、昭和8年当時で27歳くらいであり、最年少が大正5年生まれで17歳くらいの年齢である。船長、機関長、水夫長のほか、水夫が10人、油差が3人で内1人が油差長である。給料については、船長、機関長、水夫長の順で、水夫40円に対し油差45円で若干高く、1番若い水夫だけが35円で安い。この基本給に加え、「利益配当」があるが、航海後の漁獲高から利益配分がされる仕組みになっている。

こうした船員構成により、大半の期間故郷の出羽島を離れ、神奈川県三崎港、宮城県石巻港などを根拠地として、マグロ延縄漁とカツオ一本釣り漁を季節にあわせて行っていた。

3 航海日誌

(昭和9年3月24日～昭和10年3月24日)

年間を通じての蛭子丸の漁撈活動を確認するため、資料から該当する箇所を選択した。資料番号⑦および⑧により、ほぼ連続した1年間の活動を確認できるため、昭和9年3月24日～昭和10年3月24日の期間を選択し、表2により整理した。表2には日付とその日の午前、午後の記事を抜き出して記述し、漁港入港や碇泊などの状況について航海状況として整理した。

(1) マグロ漁の一航海の事例(3月29日～4月24日)

漁撈活動のサイクルについて表2の日付順にみると、3月から4月末にかけてはマグロ延縄漁を、三崎港を根拠として行っている。

まず、マグロ漁については3月29日から4月24日までの一航海について詳細に見てみたい。3月29日午前7時40分、現在の神奈川県三浦市にある三崎港を出港し、その日の午後10時45分には現在の千葉県南房総市白浜町にある野島崎燈台を通過している。針路はほぼ南東方向に取り航行している。この漁場に向かう航海の記事が4月5日まで続くが、この間ほぼ一貫して南東方向に針路をとり続けている。途中海上が荒れた海域を通過し、「海上平穏」な海域に到達している。この間、漁場に到

達するまでに8日間を要している。

4月6日早朝より漁が始まる。この日は午前4時30分より「投縄」を始める。マグロ延縄漁に使用する延縄を海中に投入し、マグロがかかるのを待つのである。漁具である縄の本数や構造、餌付けや漁具の継ぎ合わせなど、実際の作業の具体的内容は記されない。また、航海中の経緯度や漁場での縄の投入地点の記録も航海日誌にはない。表2中では表れないが、資料の一部では、漁場の水温を把握しながら投げ縄を行っていることが記される。

次に揚げ縄の作業に入る。午後2時より「揚縄」が始まり、午後10時30分に終わっている。「投縄」に対し、相当な時間を要している。投入した延縄を探し当て、漁具および漁獲物を船上に引き揚げ、氷を砕いて船倉に魚を収納する作業である。「揚縄」が終わると、再び午後11時より航走を始めている。

翌4月7日も同様に早朝に「投縄」をし、午後から「揚縄」にかかり午後12時に終わっている。翌4月8日にはこれまでの海域で漁がなかったのか、水温など条件が整わなかったのか、北北東に針路を取って航走し、午後7時には機関を止め、漂泊している。

翌4月9日より再び操業を始め、これまで同様に午前の「投縄」、午後の「揚縄」を行う。操業しない深夜の時間帯には機関を停止し、漂泊している。操業時間は昼のみで、夜間は「揚縄」の作業が終わると漁を行わず漂泊する。また、日によっては夜間に航走し、翌早朝には再び操業に入る。こうして4月18日まで操業を続け、その日の夜から「甲板部ヲ片付ケ入港準備ヲシテ」帰路につく。野島崎燈台を目指して針路を取り、4月19日から23日の5日間航海を続け、4月23日午後12時40分(24日午前0時40分か)に野島崎から針路を転じ、三崎港には翌24日午前3時50分に入港している。

(2) 三崎港碇泊とカツオ漁への切り替え

マグロ漁を終え、三崎港に入港した4月24日には、三崎港碇泊時に次の航海からカツオ漁への切り替えを決めている。通常漁港碇泊時には、漁獲物の水揚げを行った後、餌、氷、水、食料、飲料、燃料等の補給をしているが、この間のカツオ漁への切り替え時には碇泊日数が長く、記載はないが漁具等の積み替えが行われているものと考えられる。

しばらく碇泊の後、5月5日に出港している。この日、午前8時より食料、飲料、水、石油を積み込み、三崎港に近い小網代港に寄港して餌を生け、翌日の早朝よりカツオ漁を行っている。

表2 第一蛭子丸の航海日誌（昭和9年3月24日～昭和10年3月23日）

※記事の上段が午前、下段が午後、スペースは資料中では改行箇所。

月 日	記 事	航海状況
3月24日	針路NW/Wニ定メ三崎ニ向ツテ 航行中異状ナシ 海上平穏ニシテ 風波ナシ 午前と同じ	航行
3月25日	三崎ニ向ケ針路NW/Wニ航走中 異状ナシ一時風波 アレド次第平穏トナル 拾二時ヨリ針路 WNWニ変ズ 午前ニ同ジ	航行
3月26日	三崎ニ向ケ針路 WNWニ航走中異 常ナシ海上平穏ニシテ風波ナシ 同針路航走中 八時ヨリNW/Wノ 現針路ニ復ス	航行
3月27日	針路NW/Wニ定メ 航走中二時三十分 野島崎並航ス 二時三十分ヨリ針路NNWニ航行ス 五時四十分 三崎港入港漁獲物ノ 陸揚ヲ始ム拾一時 全部ノ陸揚ヲ終ル 一時ヨリ食料飲料 永及餌石油等ノ積 込ヲ始ム	三崎港入港
3月28日	三崎港碇泊中 異常ナシ 午前ニ同ジ	三崎港碇泊
3月29日	三崎港碇泊中 異常ナシ七時四十分 抜錨三崎港出港 針路SE/E1/2E 定メ野島崎ニ向フ 拾時四拾五分 野島崎燈台並行ス 針路SE/Eニ定メ 漁場ニ向フ北東ノ 風強ク海上荒シ	三崎港出港
3月30日	針路SE/Eニ航 走中風次第第二弱ク 海上次第平穏トナル 同針路ニ航走中 海上次第平穏トナル 拾二時ヨリ風位東ニ 変ル航行中異常ナシ	航行
3月31日	針路SE/E航走 中風位東ニ変リ風 弱ク海上平穏ト ナル 同針路ニ航走中 四時風位南東ニ変リ 海上荒ク針路ESE 変ジ風波右舷船 首ニ受ケテ走ル	航行
4月1日	針路ESEニ航行 中四時ヨリ風位SSE 変ル八時ヨリSニ 変ル海上荒シ 同針路ニ航行 中七時ヨリ風位 SWニ変リ現針路 ニ復ス海上荒シ	航行
4月2日	針路SE/Eニ航 走中四時風位北ニ 変ル海上荒シ 同針路ニ航走中 七時頃ヨリ海上次 第平穏トナル	航行
4月3日	針路SE/Eニ航走 中二時ヨリ風位北 西ニ変ル風弱ク海 上次第平穏トナル 拾二時風位ENEニ 変ル 同針路ニ航行中 八時風位Eニ変ル 海上稍々平穏ナリ	航行
4月4日	針路SE/Eニ航行 中異常ナシ 海上稍々平穏ナリ 同針路ニ航行中 七時風位ESEニ 変ル海上稍々平穏ナリ	航行
4月5日	針路SE/Eニ航走 中一時針路ESE ニ変ズ海上稍々 平穏ナリ 同針路ニ航走中 異常ナシ海上平穏ナリ	航行
4月6日	針路ESEニ航走 中四時三十分ヨリ投 縄ヲ始メ漁撈ニ従事ス 二時ヨリ揚縄ヲ始メ 拾時三十分全部揚 終リ拾一時ヨリEニ 航走ス海上平穏ナリ	操業
4月7日	針路Eニ航行中 四時三十分ヨリ投縄 ヲ始ム 海上平穏ナリ 二時三十分ヨリ揚縄 始メ拾二時終ル SE風ニテ海上平穏ナリ	操業
4月8日	一時ヨリ針路NNEニ航行スNE風ニテ 海上平穏ナリ 同針路ニ航行中 五時風位NNEニ 変ル海上平穏ニテ 風波ナシ七時機 関ヲ止メ漂泊ス	航行
4月9日	漂泊中異常ナシ 四時ヨリ投縄ヲ 始ム海上稍々平 穏ナリ 二時三十分ヨリ揚縄 ヲ始メ拾時三十分終ル 漂泊ス 海上稍々 平穏ナリ	操業
4月10日	漂泊中異常ナシ 四時ヨリ投縄ヲ始ム 二時三十分ヨリ揚縄ヲ始メ拾一時三十分 終リ拾二時ヨリ針 路Sニ航走ス 海上平穏ニテ風波ナシ	操業
4月11日	針路Sニ航走中 四時ヨリ投ヲ始ム 二時ヨリ揚終ヲ始メ 拾時三十分終リ拾一 時ヨリ針路SWニ 航走ス海上平穏ニテ 風波ナシ	操業
4月12日	針路SWニ航走 中四時ヨリ投縄ヲ始ム 二時ヨリ揚縄ヲ 始メ拾一時三十分 終リ針路NEニ 航走ス海上平穏 ナリ	操業
4月13日	針路NEニ航行 中三時ヨリNWニ 変ジ六時ヨリ投縄 ヲ始ム 一時三十分ヨリ揚縄 ヲ始メ拾時終リ 拾時ヨリ針路ESE 航走ス海上平穏ニテ 風波ナシ	操業
4月14日	針路ESEニ航 走中二時ヨリNEニ 変ズ五時ヨリ投縄 ヲ始ム 二時三十分ヨリ揚縄 ヲ始メ拾一時終リ 拾二時ヨリ針路 WNWニ航行ス 海上平穏ニテ風波ナシ	操業
4月15日	針路WNWニ航 行中五時ヨリ投縄 ヲ始ム 二時ヨリ揚縄ヲ始メ 拾時三十分終リ拾一 時ヨリWNWニ航行 ス海上平穏ニテ風波 ナシ	操業
4月16日	針路WNWニ航 行中二時ヨリNEニ 変ズ四時三十分ヨリ 投縄ヲ始ム 二時三十分ヨリ揚縄 ヲ始メ拾一時三十分 終リ拾二時ヨリ針路 NNWニ航走ス 海上平穏ニテ風波 ナシ	操業
4月17日	針路NNWニ航 行中二時ヨリNニ 変ジ航行シ五時 ヲヨリ投縄ヲ始ム 二時ヨリ揚縄ヲ始メ 拾時三十分終リ針路 W/Nニ航行ス 海上平穏ニテ風波 ナシ	操業
4月18日	針路W/Nニ航行中 四時ヨリ投縄ヲ始ム 二時三十分ヨリ揚縄 ヲ始メ拾時三十分 終リ甲板部ヲ片付ケ 入港準備ヲシテ 針路W/Nニ野島 崎ニ 向ツテ拾二時ヨリ 航行ヲ始ム海上平 穏ニテ風波ナシ	操業
4月19日	針路W/Nニ航行 中異常ナシ海上平穏 ニテ風波ナシ 午前ニ同ジ	航行

磯本宏紀

月 日	記 事	航海状況
4月20日	針路 W/N ニ航走ヲ 續ク海上平穩ニテ 風波ナシ 同針路ニ航行ヲ 續ク海上風波次第ニ荒シ	航行
4月21日	針路 W/N ニ航行 中海上次第ニ荒クナル 同針路ニ航走中 SW 風トナリ海上荒シ	航行
4月22日	針路 W/N ニ航走 中異常ナシ海上 風波アリ 同針路ニ航走中 八時頃ヨリ海上稍々 平穩トナル	航行
4月23日	針路 W/N ニ帰港中 SW 風ニテ海上稍々 平穩ナリ 針路 W/N ニ航走 中拾二時四十分 野島崎燈台右舷 正横ニ見テ針路 NNW ニ変ジ三 崎港ニ向フ海上 稍々荒シ	航行
4月24日	針路 NNW ニ航走中 三時五拾分三崎港 入港碇泊シ四時 三拾分ヨリ漁獲物ノ 陸揚ヲ始ム SW ノ 風ニテ海上稍々荒シ 本航海ヨリ鰹ニ切変 ヘル碇泊中異常ナシ	三崎港入港
4月25日	三崎港碇泊中 異常ナシ 午前ニ同ジ	三崎港碇泊
4月26日	三崎港碇泊中 異常ナシ 午前ニ同ジ	三崎港碇泊
4月27日	三崎港碇泊中 異常ナシ 午前ニ同ジ	三崎港碇泊
4月28日	三崎港碇泊中 異常ナシ 午前ニ同ジ	三崎港碇泊
4月29日	三崎港碇泊中 異常ナシ 午前ニ同ジ	三崎港碇泊
4月30日	三崎港碇泊中 異常ナシ 午前ニ同ジ	三崎港碇泊
5月1日	三崎港碇泊中 異常ナシ 午前ニ同ジ	三崎港碇泊
5月2日	三崎港碇泊中 異常ナシ 午前ニ同ジ	三崎港碇泊
5月3日	三崎港ニ碇泊中 異常ナシ 午前ニ同ジ	三崎港碇泊
5月4日	三崎港ニ碇泊中 異常ナシ 午前ニ同ジ	三崎港碇泊
5月5日	三崎港ニ碇泊中 八時ヨリ食料飲料 水石油ノ積込ヲ 始ム 三時小網代港ニ廻リ 餌ヲ生ケ出港五時五 拾分三崎ヨリ SSE ニ 針路ヲ定メ漁場ニ 向フ海上平穩ニテ 風波ナシ	三崎港出港, 小網代港寄港
5月6日	針路 SSE ニ航行中 四時三十分ヨリ鰹漁 ヲ始ム海上平穩ナリ 鰹漁ニ従事六時 ヲリ機関ヲ止メ漂泊ス 海上平穩ニテ風波ナシ 漁獲物ビンチヨ四百五 拾尾	操業
5月7日	漂泊中異常ナシ 四時三十分ヨリ鰹漁 ヲ始ム海上平穩ニテ 風波ナシ 漁労中六時ヨリ 機関ヲ止メ漂泊ス 漁獲物 ビンチヨ 二百尾	操業
5月8日	漂泊中異常ナシ ビンチヨ ^(ツ) 鮮見當ラズ 海上平穩ナリ 午前ニ同ジ六時ヨリ 機関ヲ停止シテ 漂泊ス海上平穩ナリ	操業
5月9日	漂泊中四時ヨリ群 ヲ探ス 調査シタルニ群見當 ラズ六時ヨリ機関 ヲ止メ漂泊ス海上 稍々平穩ナリ	操業
5月10日	漂泊中四時機関 ヲ始動シ群ヲ探ス 拾時ビンチヨ二百尾 漁獲ス 昼三時ビンチヨ百五 拾尾漁獲シ六時 ヲリ漂泊ス海上稍々 平穩ナリ	操業
5月11日	漂泊中四時機関ヲ 始動シ群ヲ探ス八時 群ニ合ヒビンチヨ百五 拾尾漁獲ス 昼四時ビンチヨ二百 尾漁獲シ六時三拾 分ヨリ漂泊ス海上 平穩ニテ風波ナシ	操業
5月12日	漂泊中四時機関 ヲ始動シ ^(ツ) 鮮ヲ探ス 調査中群見當ラズ 五時ヨリ入港準備シ 針路 NW ニ定メ 野島崎ニ向フ海上 稍々平穩ナリ	操業
5月13日	針路 NW ニ航行中 七時拾分野島崎ヨリ NW/N ニ変シ三崎港ニ 向フ拾時拾分三崎入港 漁獲物陸揚ヲ始メ 拾二時全部ノ陸揚ヲ 終リ碇泊ス 碇泊中異常ナシ	三崎港入港
5月14日	三崎港碇泊中 異常ナシ六時ヨリ航海 ノ準備ニ着手食料 飲料水石油等ノ積 込ヲ始ム 一時抜錨三崎港 出帆針路 SSE ニ 定メ漁場ニ向フ 海上平穩ナリ	三崎港碇泊
5月15日	針路 SSE ニ航續中 八時ビンチヨ ^(ツ) 鮮ヲ見 五拾尾漁獲ス其後 鮮見ズ 海上稍々平穩ニシテ 風波弱シ 午前ニ同ジ 六時三十分ヨリ漂泊ス 海上稍々平穩ナリ	操業

出羽島のカツオ・マグロ漁と機付帆船第巻号蛭子丸の航海日誌

月 日	記 事	航海状況
5月16日	漂泊中異常ナシ 四時三十分ヨリ群ヲ 探ス海上平穩ニテ 風波ナシ 鮮當ラズ六時ヨリ 漂泊ス海上平穩ニテ 風波ナシ	操業
5月17日	四時三十分ヨリ鮮ヲ 探ス海上平穩ニテ風波ナシ 二時頃ピンチヨ二百 八拾尾漁獲ス 六時三十分ヨリ漂泊 ス海上平穩ニテ風 波ナシ	操業
5月18日	漂泊中異常ナシ 四時三十分機関ヲ 始動シ群ヲ探ス ピンチヨ群見當ラズ 六時ヨリ漂泊ス 海上平穩ニテ風波 ナシ	操業
5月19日	漂泊中異常ナシ 四時三十分始動シ ピンチヨ群を 探ス 六時頃ピンチヨ 二拾 五尾漁獲ス 海上 平穩ナリ六時三十分 ヨリ漂泊ス	操業
5月20日	漂泊中異常ナシ 四時機関ヲ始動シ 群ヲ探ス 二時頃ピンチヨ三十 尾漁獲ス六時三 十分漂泊ス海上平 穩ニテ風波ナシ	操業
5月21日	漂泊中異常ナシ 四時機関ノ始動ヲ 初メ鮪ノ群ヲ探ス 群見當ラズ六時ヨリ 機関ヲ停止シテ 漂泊ス海上平穩ニテ 風波ナシ	操業
5月22日	漂泊中異常ナシ 四時機関ヲ始動シ 群ヲ探ス海上稍々 平穩ナリ 群ヲ調査中二時頃 ピンチヨ群見當リ ピンチヨ鮪四百五拾 尾漁獲ス尚附近 ヲ七時迄調査シタル ニ見 當ラズ早速入港 準備シ針路 W/S ニ定メ野島崎ニ向フ 海上稍々流シ	操業
5月23日	針路 W/S ニ定メ 帰港中異常ナシ 針路 W/S ニ定メ 帰港中五時五拾分 野島崎ヨリ針路 NNW ニ定メ三崎港 向フ八時五拾分 三崎入港碇 泊ス 海上稍々風波アリ	航行 三崎港入港
5月24日	碇泊中異常ナシ 四時三十分ヨリ漁 獲物ノ陸揚ヲ始メ 五時五拾分全部終リ 早速航海ノ準備ニ着手 食 料氷水石油等ノ 積込ヲ始ム 碇泊中四時四拾 五分三崎港出港 小網代港ニテ餌ヲ 生シ出港シ七時 城ヶ島ヨリ針路 SE 1/2E 定メ野 島崎ニ 至ル拾時二拾分 野島崎ヨリ針路 ESE ニ定メ漁場ニ 向フ海上平穩ニテ 風波ナシ	三崎港出港
5月25日	針路 ESE ニ向ヒ 航行ス海上稍々 平穩ナリ 調査シタル群見當ラズ 六時三十分ヨリ機関 ヲ停止シ漂泊ス 海上稍々平穩ナリ	操業
5月26日	漂泊中四時機関ヲ 始動シ群ヲ探ス 群見當ラズ六時三拾 分機関ヲ止メ漂泊ス 海上平穩ニテ風波ナシ	操業
5月27日	漂泊中四時機関ヲ 始動群ヲ探ス 二時經貳千尾漁 獲ス其後見當ラズ 六時漂泊ス海上 平穩ニテ風波ナシ	操業
5月28日	漂泊中四時機関 ヲ始動シ群ヲ探ス 調査中群見當ラズ 六時三拾分機関ヲ止メ 漂泊ス海上平穩ニテ風波ナシ	操業
5月29日	漂泊中四時機関ヲ 始動シ ESE ニ調査ス 其後調査中群見 當ラズ六時三拾分ヨリ機関ヲ止メ漂泊ス 海上平穩ニテ風波ナシ	操業
5月30日	漂泊中異常ナシ 四時機関ヲ始動シ 群ヲ探ス九時三拾 分髪長二百五拾尾 鯨一千八百尾漁獲 ス 尚一時三拾分百七 拾尾漁獲ス五時 五拾分機関ヲ停止 漂泊ス海上荒シ	操業
5月31日	漂泊中四時機関ヲ 始動シ鯨ノ群ヲ 探ス 調査中三時ピンチヨ 鮪四百五拾尾漁 獲シ餌ヲシマイ四時 針路 WNW ニ定メ野 島崎ニ向フ海上平 穩 ニテ風波ナシ	操業
6月1日	針路 WNW ニ航走 中七時三十分野島崎 右舷船首 1/2 点 N ニ 見尚航走中拾一時 拾分右舷正横ニ見テ 針路 NNW ニ向ケ 三崎港ニ向フ海上 稍々風波アリ 針路 NNW ニ航走中 二時三拾分三崎入港 碇泊シ早速漁獲物 ノ陸揚ヲ始メ五時 終リ航海ノ準備着手 氷石油食料水等ノ 積込ヲ始ム	航行 三崎港入港
6月2日	三崎港碇泊中 異常ナシ七時拾分 出港金田ニテ鯨餌ヲ 生シ八時二拾分針 路 S/E ニ定メ野島 崎ニ向フ 拾時三拾 分野島崎ヨリ針路 ESE ニ定メ漁場ニ向フ 同針路ニ航走中 異常ナシ海上平穩 ナリ	三崎港出港 航行
6月3日	針路 ESE ニ取り 漁場ニ向ツテ航行中 異常ナシ海上稍々 平穩ナリ 同針路ニ航行中 一時ピンチヨ群ニ会シ 九拾五尾漁獲ス 六時機関ヲ止メ 漂泊ス海上稍々 荒シ	操業
6月4日	漂泊中四時三十分 機関ヲ始動シ群ヲ 探ス海上荒ク拾時 機関ヲ止メ漂泊ス 漂泊中異常ナシ 八時頃ヨリ次第二風 弱クナル	操業
6月5日	漂泊中四時ヨリ機関 ヲ始動シ針路 S ニ 航走ス 調査中一時鯨三 百尾漁獲ス其後 漁ナシ六時機関ヲ 停止シ漂泊ス海上 稍々風波アリ	操業
6月6日	漂泊中異常ナシ 三時機関ヲ始動シ 針路 WSW ニ調査ヲ 進ム 針路 WSW ニ調査中 四時ピンチヨノ群ニ 会ヒ餌付悪ク二拾 四尾漁獲ス七時 機関止メ漂泊ス 海上風 波アリ稍々 荒シ	操業
6月7日	漂泊中四時ヨリ機関ヲ始動シ W ニ向ツテ 調査ス海上稍々 荒シ 群見當ラズ六時ヨリ 漂泊ス海上平穩ニテ 風波ナシ	操業
6月8日	四時機関ヲ始動シ 附近ヲ調査ス 調査中三時頃鯨ノ 群ニ会ヒ三百四拾尾 漁獲ス其後見當ラズ 八時ヨリ針路 E ニ 定メ航走ス海上 平穩 ナリ	操業

磯本宏紀

月 日	記 事	航海状況
6月9日	針路 E ニ航行中一時 漂泊ス 四時機関ヲ 始動シ ESE ニ調査 ス 針路 ESE ニ調査中 二時三拾分鯨付ニ 会シ鯨百八拾尾 漁獲ス尚 ESE 調査 シ六時機関ヲ止メ 漂泊ス 海上平穩ニテ 風波ナシ	操業
6月10日	漂泊中異常ナシ 四時ヨリ附近調査ス ルモ群見當ラズ 調査中一時鯨付群 ニ会シ貳千五百尾 四時貳千尾漁獲ス 七時ヨリ漂泊ス海上 平穩ナリ	操業
6月11日	漂泊中四時機関ヲ 始動シ調査ヲ始ム 海上稍々平穩ナリ 調査中群見當ラズ 四時ヨリ針路 WSW ニ定メ野島崎ニ向フ 海上 E 風ニテ稍々 荒シ	操業
6月12日	針路 WSW ニ向ヒ帰 港中八時ヨリ W/S ニ 向フ海上稍々荒シ W/S ニ帰港中 NE ニ変リ海上稍々 荒シ	航行
6月13日	針路 W/S ニ航行中 拾二時ヨリ W ニ変ジ 野島崎ニ向ヒ航行ス 針路 W ニ航行中 七時三十分野島崎 燈台ヲ W/N ニ見ル	航行
6月14日	針路 NNW ニ航走 中二時三崎入港 碇泊ス六時ヨリ 漁獲物ノ陸揚ヲ 始メ九時全部終リ 早速航海ノ準備 ニ着手シ氷水石油 食料等ノ積込ヲ 始ム 三崎港碇泊中異常ナシ	三崎港入港
6月15日	三崎港ニ碇泊中 七時機関ヲ始動シ 七時二拾分出港小 網代ニテ餌ヲ生シ 九時三崎ヨリ針路 SE/S1/2S ニ定メ漁場ニ向フ海上 平穩ニテ風波ナシ 同針路ニ航行中 異常ナシ海上平穩 ナリ	三崎港碇泊、 小網代港寄港
6月16日	針路 ESE ニ向ヒ航 走中異常ナシ海上 平穩ニテ風波ナシ 針路 ESE ニ航走中 四時鯨付キニ会シ 鯨壹千五百尾漁獲ス 其後同針路ニ航走ス SE ノ風ニテ海上荒シ	操業
6月17日	針路 ESE ニ航走中 次第海上荒ク一時 機関ヲ止メ漂泊ス 四時三拾分機関ヲ 始動シ附近ヲ調 査中五 時鯨付ニ 合シ鯨壹千尾タルマ 五百尾漁獲ス 附近ヲ調査中 群見當ラズ六時 漂泊ス海上稍々 荒シ拾時機関 ヲ始動シ針路 ESE ニ進ム	操業
6月18日	針路 ESE ニ定メ航 行中四時ヨリ調査ヲ 始ム ESE ニ調査中四五 回鯨群ニ合シ餌付 悪ク漁ナシ水色悪シ 海上平穩ニテ風波ナシ 六時三拾分漂泊ス	操業
6月19日	針路 NW/W ニ航 行シ五時ヨリ NW ニ 調査ヲ始ム二三回 群ニ合シ餌付キ 悪ク漁ナシ 調査中午後二三 回群ニ合シ鯨ニ 百尾漁獲ス六時 ヲリ漂泊ス海上稍々 風波アリ	操業
6月20日	四時ヨリ機関ヲ始 動シ附近ヲ調査シ 二三回鯨群ニ合シ 鯨壹千尾漁獲ス 濃霧ニテ稍々荒シ 四時鯨付ニ合シ 鯨壹千尾タルマ 百目鉢參拾尾 獲ス六時三拾分 漂泊ス海上濃霧ニテ 海上稍々荒シ 八時三拾分ヨリ濃霧 消散ス	操業
6月21日	漂泊中異常ナシ 四時ヨリ機関ヲ始動シ 附近ヲ調査シ鯨 群ニ合シ二百五拾尾 漁獲ス 拾二時ヨリ濃霧トナシ針路 N ニ調査スルモ 群見當ラズ六時ヨリ 漂泊ス海上稍々 平穩ナリ拾時ヨリ機 関ヲ始動シ針路 W ニ 航走ス	操業
6月22日	針路 W ニ航走中 六時ヨリ W/N ニ変ズ 針路 W/N ニ航走 中六時ヨリ W ニ変 ジ航續ス海上 平穩ナリ	航行
6月23日	針路 W ニ航走 中異常ナシ 針路 W/N ニ航走 中拾一時三拾分 野島燈台 W ニ見テ 針路 W ニ向ケ野 島崎ニ向フ海上 平穩ニテ風 波ナシ	航行
6月24日	針路 W ニ航走中五時 野島崎ヨリ NW/N ニ 向ケ三崎港ニ向フ 七時五拾分岬入 港シ漁獲物ノ陸 揚ヲ 始メ九時終リ 碇泊ス 碇泊中異常ナシ	三崎港入港
6月25日	三崎港碇泊中 異常ナシ 碇泊中異常ナシ	三崎港碇泊
6月26日	三崎港碇泊中 異常ナシ 碇泊中航海ノ 準備ニ着手氷水 食料等ノ積込ヲ 始ム	三崎港碇泊
6月27日	碇泊中八時三 崎港出港小網 代港ニ向ヒ餌ヲ生 シ九時三拾分三 崎ヨリ針路 SSE ニ 定メ野島崎ニ向フ 一時野島崎ヨリ 針路 ESE ニ定メ 漁場ニ向フ海上 平穩ニテ風波ナシ	三崎港出港
6月28日	針路 ESE ニ調査 中拾二時ヨリ E/S ニ調査ス E/S ニ調査中二時 鯨群ニ合シ 二百尾漁獲ス 其後モ調査中 群見ズ七時ヨリ 漂泊ス海上平穩 ニテ風 波ナシ	操業
6月29日	漂泊中四時ヨリ E/S ニ調査ス 拾時ピンチヨ群ニ 合シ參拾七尾 漁獲ス E/S ニ調査中一 時ヨリ W ニ調査ス ルモ群見當ラズ 七時ヨリ漂泊ス 海上平穩ニテ風 波ナシ	操業
6月30日	漂泊中四時ヨリ機 関ヲ始動シ附近ヲ 調査ス 調査中六時二拾 分鯨付ニ合シ鯨 壹千三百尾目鉢 四百尾漁獲シ 七時ヨリ漂泊ス 海上稍々平穩ナリ	操業
7月1日	漂泊中四時機関ヲ 始動シ附近ヲ調 査ス九時鯨群ニ 合シ壹千參百尾 漁獲ス 其後調査スルモ 群見當ラズ漁ナシ 七時ヨリ漂泊ス 海上平穩ニテ風波 ナシ	操業
7月2日	漂泊中四時ヨリ附 近ヲ調査ス四時 頃ヨリ濃霧トナル 海上風波ナシ 調査中三時群ニ合シ 鯨六百尾漁獲シ 六時三拾分漂泊ス 八時ニ至リ濃霧 消散ス	操業

出羽島のカツオ・マグロ漁と機付帆船第壱号蛭子丸の航海日誌

月 日	記 事	航海状況
7月3日	漂泊中四時ヨリ 調査ヲ始メ六時鮫 付ニ合シ鯉六千尾 ダルマ百五十拾尾 漁獲シ拾時二百 尾漁獲シ拾二時ヨリ 針路Wニ定メ野島 崎ニ向フ 針路Wニ航行中 異常ナシ海上平穩 ニテ風波ナシ	操業
7月4日	針路Wニ帰港中 異常ナシ 針路Wニ帰港中 異常ナシ海上平穩 ニテ風波ナシ	航行
7月5日	針路Wニ帰港中 異常ナシ海上平穩 ニテ風波ナシ 針路Wニ帰港 中七時三十分 野島崎燈台 W/S ニ見テ針路WSW ニ変ズ九時五拾 分野島崎ヨリWNW ニ三十分走り ^(ママ) 鼻ヨリ針路NNWニ定メ三崎港ニ 向フ海上平穩ナリ	航行
7月6日	針路NNWニ航行 中一時四十分三 崎入港碇泊ス 七時ヨリ漁獲物ノ 陸揚ヲ始メ拾時 全部ノ陸揚ヲ終ル 一時ヨリ石油水 氷食料等ノ積込 ヲ始ム	三崎港入港
7月7日	三崎港碇泊中 異常ナシ 午前ニ同ジ	三崎港碇泊
7月8日	三崎港碇泊中異 常ナシ八時出港シ 下浦へ向ヒ餌ヲ 生シ拾時下浦ヨリ 針路Sニ向フ 一時ヨリ ESEニ定メ 漁場ニ向フ海上 平穩ニテ風波ナシ	三崎港出港
7月9日	針路ESEニ 調査中六時ヨリ E/Sニ調査ヲ進ム E/Sニ調査スルモ 群見當ラズ七時 漂泊ス海上平穩 ナリ	操業
7月10日	漂泊中二時ヨリ E/Sニ航走シ四 時ヨリ調査ヲ始ム E/Sニ調査中二時 鯉群ニ合スモ餌付 ワルク二百尾漁獲シ 六時三十分漂泊ス 海上稍々風波アリ	操業
7月11日	漂泊中四時ヨリ 針路SWニ調査 ヲ始ム 一時ヨリSニ五時ヨリWニ調査スルモ 海上荒ク群見 當ラズ六時漂泊 ス	操業
7月12日	漂泊中四時ヨリWニ 調査ス 針路Wニ調査 スルモ餌付ワルク 漁ナシ六時漂泊ス 海流荒シ	操業
7月13日	漂泊中四時ヨリ 機関ヲ始動シ針路 SSWニ調査ヲ 始メ拾二時ヨリ WSWニ調査ス WSWニ調査中 二三回群ニ合スモ 餌付キワルク漁ナシ 六時三十分ヨリ 漂泊スSW風ニテ 海上稍々荒シ	操業
7月14日	漂泊中四時ヨリ WSWニ調査ヲ進 ム拾二時ヨリSSWニ調査ス SSWニ調査中 五時ヨリNEニ調査 スルモ群見當ラズ 七時漂泊ス海上 雨天ニテ風波ナシ	操業
7月15日	漂泊中四時ヨリ SEニ調査ヲ進メ 拾二時ヨリNNWニ調査ス NNWニ調査中 三時ヨリWSWニ 調査スルモ群見 當ラズ六時三十分 漂泊ス海上平穩 ナリ	操業
7月16日	漂泊中四時ヨリ WSWニ調査ヲ 進ム拾二時ヨリ ENEニ調査ス ENEニ調査スルモ群見當ラズ六時 三十分漂泊ス 海上平穩ナリ	操業
7月17日	漂泊中四時ヨリ WSWニ調査中 數回鯨鯨付キニ 合スモ餌付ワルク漁 ナク八時ヨリ附近ヲ 調査ス 調査中數回群ニ 合スモ餌付ワルク 漁ナク六時三十分 漂泊ス海上平穩 ニテ風波ナシ	操業
7月18日	四時機関ヲ始動シ Nニ調査中八時 ヲヨリWNWニ調査ス WNWニ調査スルモ 群見當ラズ七時ヨリ 漂泊ス海上平穩 ニテ風波ナシ	操業
7月19日	漂泊中四時ヨリ WNWニ調査ス 八時ヨリ濃霧トナリ 微速力ニテ調査ス WNWニ調査中 六時濃霧消散ス 六時三十分ヨリ漂 泊ス海上平穩ニテ 風波ナシ	操業
7月20日	漂泊中四時ヨリNニ 調査ヲ進ム 一時ヨリWNWニ調 査シ二三回群ニ合シ 百尾漁獲ス其後 モWNWニ調査シ 七時漂泊ス海上 平穩ニテ風波ナシ	操業
7月21日	漂泊中四時ヨリ WNWニ調査シツツ 帰港ノ途ニ付ク 針路WNWニ航走 中八時濃霧トナリ 機関ヲ止メ四名ノ 見張ヲキ漂泊ス 規定霧中信號 ヲ始ム海上 平穩ニテ 風波ナシ	航行
7月22日	漂泊中漂泊中異常ナシ 三時濃霧消散シ 四時ヨリ針路WNW 航走中七時金華山 NWニ見テ針路NW ニ変ジ航走シ 九時金華山右舷 正横ニ見テ石巻港ニ 向フ拾一時二拾五分 石巻入港碇泊ス 石巻港碇泊中 異常ナシ	石巻港入港
7月23日	石巻港碇泊中異 常ナシ 碇泊中0時三拾 分出港シ福貴浦 ニテ餌ヲ生シ金華山 ニ向ヒ五時金華山 左舷ニ見テ針路 ESEニ定メ 漁場ニ 向フ海上平穩ニテ 風波ナシ	石巻港出航
7月24日	針路ESEニ航走 中異常ナシ 針路ESEニ調査中 六時三十分漂泊ス 海上平穩ニテ風波 ナシ	航行
7月25日	漂泊中四時ヨリ E/Sニ調査ス E/Sニ調査中二時 三十分群ニ合シ 鯉五百尾漁獲シ 六時三十分漂泊ス 海上平穩ニテ風波 ナシ	操業
7月26日	漂泊中四時ヨリENEニ 調査シ八時ヨリ ESEニ調査シ二回群 ニ合スモ餌付ワルク 漁ナシ 一時ヨリNニ四時ヨリ SSWニ調査スルモ 群見當ラズ七時ヨリ 漂泊ス海上平穩ニテ 風波ナシ	操業
7月27日	漂泊中四時ヨリ NNWニ調査ヲ進ム 一時ヨリNEニ調査 シ二時群ニ合シ 二百尾五時五拾 尾漁獲ス七時ヨリ 漂泊ス海上平穩 ニテ風波ナシ	操業

磯本宏紀

月 日	記 事	航海状況
7月28日	漂泊中四時ヨリ Eニ調査ヲ進ム Eニ調査中海上 次第ニ悪ク一時 ヨリ漂泊ス漂泊 中異常ナシ	操業
7月29日	漂泊中四時ヨリ SSEニ調査ヲ進ム 西風ニテ海上稍々 荒シ SSEニ調査中四 時ヨリ Sニ調査シ 鯨付キニ合スモ 餌付キ悪ク漁ナク 九時迄 Sニ航行シ 九時ヨリ漂 泊ス 海上稍々風波アリ	操業
7月30日	漂泊中四時ヨリ Sニ 調査シ八時ヨリ Wニ 調査スルモ群見當ラズ 一時ヨリ Sニ四時ヨリ SEニ調査シ二時 鯨付キニ合シ鯨 七百尾六時四百 尾漁獲シ七時 漂泊ス海上 平穩 ニテ風波ナシ	操業
7月31日	漂泊中四時ヨリ附近 ヲ調査ス數回群 ニ合スモ餌付ワルシ 調査中數回群 ニ合シ餌付ワルク 鯨二百尾漁獲ス 海上平穩ニテ風波ナシ	操業
8月1日	漂泊中四時ヨリ NEニ調査ヲ進ム八 時ヨリ SEニ調査ス SEニ調査中三時ヨリ WNWニ調査シ 七時ヨリ漂泊ス 調査中數回群 ニ合スモ餌付キ 悪ク百五拾尾 漁獲ス	操業
8月2日	漂泊中四時ヨリ ESEニ調査シ 六時群ニ合シ 鯨四百尾漁獲 シ八時ヨリ針路 W/Nニ定メ帰港ノ 途ニ 付ク海上稍々 平穩ナリ 針路 W/N向ケ 帰港中異常ナシ 海上稍々平穩ナリ	操業
8月3日	針路 W/Nニ定メ 帰港中拾一時ヨリ 針路 Wニ航走ス 針路 Wニ航走中 一時三拾分金華山 右舷正横ニ見テ石 巻港ニ向フ四時 三拾分石巻港入港 碇泊ス海 上平穩ニテ 風波ナシ	石巻港入港
8月4日	石巻港ニ碇泊中 異常ナシ四時 三拾分ヨリ漁獲物 ノ陸揚ヲ始メ六 時終ル 石巻港ニ碇泊中 異常ナシ	石巻港碇泊
8月5日	石巻港ニ碇泊中異 常ナシ拾時三拾分 石巻港出港針路 S/Wニ定メ犬吠 崎ニ向フ 針路 S/Wニ航走 中九時四拾分塩屋崎燈台右舷 正横ニ見ニテ航走 ス海上平穩ニテ 風波ナシ拾二時ヨ リ 濃霧トナリ機関ノ 運轉ヲ止メ數名ノ 見張ヲ置キ規 定ノ霧中信号ヲ 始ム	石巻港出港
8月6日	霧中漂泊中四時ニ至 リ濃霧消散シ四時ヨリ 針路 Sニ航行ヲ始ム 拾一時四拾分犬吠崎 右舷正横ニ見テ 針路 SWニ変ジ八幡崎ニ 向フ 針路 SWニ航走中 六時八幡崎ニ至リ SW/W向ケ野鳥崎ニ 向ヒ拾一時三拾分野 鳥崎通過針路 NW /N ニ向ケ三崎港ニ向フ 海上稍々風波アリ	航行
8月7日	針路 NW/Nニ向ケ 三崎ニ航行中三時 拾分三崎入港 碇泊ス 三崎港碇泊中 異常ナシ	三崎港入港
8月8日	三崎港碇泊中 異常ナシ 三崎港碇泊中 異常ナシ	三崎港碇泊
8月9日	三崎港碇泊中異常 ナシ拾一時五十分三 崎出航針路 SW 1/2Wニ定メ神子元島ニ向フ 七時二拾分右舷ニ見 針路 Wニ定メ鳥羽 港ニ向フ海上平穩 ニテ風波ナシ	三崎港出港
8月10日	針路 Wニ航行中 異常ナシ十一時二拾 分鳥羽港入港 碇泊シ青峯山ニ參拜ス 鳥羽港碇泊中 異常ナシ五時 二拾分出港石鏡ニ 向ヒ六時ヨリ針路 S/Wニ七時四拾分迄 航行シ針路 SW/Wニ変ジ潮岬ニ向フ SWノ風ニテ海上稍々 荒シ	鳥羽港入港 青峯山參拜 鳥羽港出港
8月11日	針路 SW/Wニ定メ 潮岬ニ航行中 拾時右舷ニ見テ針 路 W1/2Nニ変ズ 針路 W1/2Nニ航行 中九時四拾分出 羽鳥港入港碇 泊ス海上稍々平 穩ナリ	航行 出羽鳥港入港
8月12日	出羽鳥港碇泊中 異常ナシ 手前ニ同ジ	出羽鳥港碇泊
8月13日	出羽鳥港碇泊中 異常ナシ 手前ニ同ジ	出羽鳥港碇泊
8月14日	出羽鳥港碇泊中 七時出港シ久礼港 ニ向フ針路 SW/Sニ 定メ航走シ拾時拾 分室戸岬ヨリ W/Nニ 変 ジ久禮港ニ向ヒ 五時久礼入港 碇泊ス海上平穩 ニテ風波ナシ久礼 碇泊中拾一時拾分 出港出羽鳥ニ向フ	出羽鳥港出港 久礼入港および出港
8月15日	針路 E/Sニ航行中 六時室戸岬ヨリ針路 NE/Nニ変ジ航走シ 九時二十分出羽鳥 入港碇泊ス 碇泊中異常ナシ	出羽鳥港入港
8月16日	出羽鳥港碇泊中 異常ナシ八月十五日ヨリ 九月七日迄碇泊ス 八時四十分出羽鳥 出港シ徳島港ニ 向フ 針路 NE/Eニ 定メ航走拾二時 蒲田岬ヨリ N/E航走 ス 一時ヨリ針路 NW/Nニ 変ジ徳島港ニ向 ヒ二時四十分徳島 入港碇泊ス ※8月16日～9月7日の間、徳島港に碇泊。この間の航海日誌の記載なし。	出羽鳥出港 徳島港入港
9月8日	徳島港ニ碇泊中 異常ナシ 午前ニ同ジ	徳島港碇泊
9月9日	徳島港ニ碇泊中 異常ナシ 午前ニ同ジ	徳島港碇泊
9月10日	徳島港ニ碇泊中 異常ナシ 午前ニ同ジ	徳島港碇泊

出羽島のカツオ・マグロ漁と機付帆船第壱号蛭子丸の航海日誌

月 日	記 事	航海状況
9月11日	碇泊中異常ナシ 午前ニ同ジ	徳島港碇泊
9月12日	碇泊中異常ナシ 午前ニ同ジ	徳島港碇泊
9月13日	碇泊中異常ナシ (空欄)	徳島港碇泊
9月14日	(空欄) (空欄)	
	※9月15日～10月24日の間の記載なし。 ※10月25日～10月30日の間、天候、晴雨計、寒暖計、風の方位及び力のみの記載	
10月31日	三崎港碇泊中 異常ナシ 三崎港碇泊中 異常ナシ	三崎港碇泊中
11月1日	三崎港ニ碇泊中 六時四十後分出 港針路 SE/S1/2S ニ定メ野島崎ニ向フ 九時四十五分野島 ヨリ針路 E 変ジ 漁場ニ向フ海上 稍々平穏ナリ (空欄)	三崎港出港
	※11月2日・11月3日の間、天候、晴雨計、寒暖計、風の方位及び力のみの記載	
11月4日	針路 E ニ航走 中異常ナシ海上 荒シ 午前ニ同ジ	航行
11月5日	針路 SE/E ニ航走 中異常ナシ NE ノ風 強ク海上荒シ 午前同ジ風位 四時ヨリ SE ニ変ル	航行
11月6日	針路 SE/E ニ航走 中六時ヨリ投縄ヲ 始ム海上平穏ナリ 八時揚縄ヲ終リ 早速針路 SE ニ 航走ス海上平穏 ニテ風波ナシ	航行
11月7日	針路 SE ニ航走中 異常ナシ 午前ニ同ジ	航行
11月8日	漂泊中異常ナシ 五時機関ヲ始動シ 投縄ヲ始ム 海上平穏ニシテ風 波ナシ 一時三十分ヨリ揚縄 ヲ始メ九時三十分全 部揚終リ拾時ヨリ 針路 NW/N ニ航走 ス海上平穏ナリ	操業
11月9日	針路 NW/N ニ航走 中六時ヨリ投縄ヲ始ム 海上稍々荒シ 二時ヨリ揚縄ヲ始メ 九時三十分揚ゲ終リ 漂泊シ十一時ヨリ 針路 NW/N ニ航走ス 海上稍々平穏ナリ	操業
11月10日	針路 NW/N ニ航 走中四時三十分ヨリ 投縄ヲ始ム 海上稍々平穏ナリ 二時ヨリ揚縄ヲ始メ 九時二十分終リ 拾一時ヨリ針路 NW/N ニ航走ス	操業
11月11日	NW/N ニ航走中五時 ヨリ投縄ヲ始ム 海上平穏ニテ風波ナシ 二時ヨリ揚縄ヲ始メ 九時三十分終リ漂泊 ス海上平穏ナリ	操業
11月12日	漂泊中異常ナシ 五時ヨリ投縄ヲ始メ 海上西北西風 ニテ荒シ 二時ヨリ揚縄ヲ 始メ九時三十分終リ機ヲ止メ 漂泊ス海上荒シ	操業
11月13日	漂泊中異常ナシ 五時ヨリ投縄ヲ始ム WNW ノ風ニテ海上 荒シ 二時ヨリ揚縄ヲ始メ 九時終リ風位北 西ニ変リ海上平穏 トナリ九時ヨリ NW ニ航走ス	操業
11月14日	漂泊中一時ヨリ 針路 NW ニ五時 迄航走シ五時 ヨリ投縄ヲ始ム 海上平穏ナリ 二時ヨリ揚縄ヲ 始メ拾時終リ 漂泊ス S 風強ク 海上荒シ漂泊 中異常ナシ	操業
11月15日	漂泊中異常ナシ 八時ヨリ投縄ヲ 始ム海上荒シ 二時ヨリ揚縄ヲ始メ 九時三十分終リ 漂泊ス海上平穏ナリ	操業
11月16日	漂泊中異常ナシ 五時機関ヲ始動シ 投縄ヲ始ム 海上稍平穏ナリ 三時ヨリ揚縄ヲ始メ 拾一時終リ拾一時 三十分ヨリ針路 NW ニ航走ス 海上稍々荒シ	操業
11月17日	針路 NW ニ航走中 異常ナシ NW 風ニテ 海上稍々荒シ 針路 NW ニ航走中 八時ヨリ NW/W ニ 針路変ズ海上稍 々荒シ	航行
11月18日	針路 NW/W ニ航走 中五時ヨリ投縄ヲ 始ム ※天候、晴雨計、寒暖計、風の方位及び力のみの記載	操業
11月19日	〃	
11月20日	〃	
11月21日	〃	
11月22日	〃	
11月23日	〃	
11月24日	〃	
11月25日	〃	
11月26日	〃	
11月27日	〃	
11月28日	〃	
11月29日	〃	

磯本宏紀

月 日	記 事	航海状況
11月30日	針路 E/N 二航走中 異常ナシ 同針路二航走中 異常ナシ NW ノ風 強ク海上荒シ	航行
12月1日	針路 E/N 二航走中 異常ナシ 同針路二航走中 異常ナシ海上荒シ	航行
12月2日	針路 E/S 二航走中 異常ナシ 針路 E/S 二航走 中五時ヨリ針路 SE/E 二変ズ 異常ナシ	航行
12月3日	針路 SE/E 二航 走中異常ナシ SE/E 二航走中 異常ナシ WNW 風 強ク海上荒シ	航行
12月4日	針路 SE/E 二航行中 五時ヨリ投縄ヲ始メ 漁業ニ従事ス WNW ノ風強ク海上荒シ 2時ヨリ揚縄ヲ始メ 拾時終リ漂泊ス WNW ノ風強ク 海上荒シ	操業
12月5日	漂泊中五時三十分 ヨリ投縄ヲ始ム WNW ノ風ニテ 海上稍々平穩ナリ 一時ヨリ揚縄ヲ 始メ九時三十分 終リ漂泊ス	操業
12月6日	漂泊中五時三十分ヨリ 投縄ヲ始ム海上荒シ 八時三十分ヨリ揚縄ヲ 始メ九時四十分終リ 漂泊ス海上荒シ	操業
12月7日	漂泊中五時三十分ヨリ 投縄ヲ始メ調査ス 漁労中二時ヨリ揚縄 ヲ始メ九時十分終リ 漂泊ス海上稍々荒シ	操業
12月8日	漂泊中五時二十分ヨリ投縄ヲ始メ調査ス 漁労中二時十分ヨリ 揚縄ヲ始メ十時揚 終リ漂泊ス海上稍々 荒シ	操業
12月9日	漂泊中五時二十分ヨリ 投縄ヲ始メ調査ス 漁労中一時五十分ヨリ 揚縄ヲ始メ九時四十 分揚終リ漂泊ス 海上平穩ニテ風波 ナシ	操業
12月10日	漂泊中五時ヨリ投 縄ヲ始メ調査ス 漁労中二時ヨリ揚 縄ヲ始メ九時五十分 揚終リ十時ヨリ SE/ S 二航走ス海上平穩 ニテ風波ナシ	操業
12月11日	針路 SE/S 二航走中 一時漂泊五時二十分 ヨリ投縄ヲ始メ調査ス 漁労中一時五十分ヨリ 揚縄ヲ始メ十時終リ 漂泊ス海上平穩	操業
12月12日	漂泊中五時三十分ヨリ 投縄ヲ始メ調査ス 漁労中一時ヨリ揚縄 ヲ始メ九時揚終リ 漂泊ス海上荒シ	操業
12月13日	漂泊中五時三十分 ヨリ投縄ヲ始メ調 査ス海上荒シ 漁労中一時ヨリ揚 縄ヲ始メ八時四十分 終リ漂泊ス海上 荒シ	操業
12月14日	漂泊中五時ヨリ投 縄ヲ始メ調査ス 海上稍々荒シ 調査中一時三十分 ヨリ揚縄ヲ始メ九時 四十分終リ漂泊ス 海上荒シ	操業
12月15日	漂泊中五時ヨリ投 縄ヲ始メ調査ス 海上平穩 漁労中二時ヨリ揚 縄ヲ始メ九時四十 分揚終リ早速入 港準備シテ十時 ヨリ針路 WSW 二 航走ス海上 荒シ	操業
12月16日	針路 WSW 二帰港 中異常ナシ海上稍々 荒シ 同針路二帰港中 異常ナシ	航行
12月17日	WSW 二定メ帰港中 異常ナシ 同針路二帰港中 異常ナシ海上稍々荒シ	航行
12月18日	針路 WSW 二航走中 一時ヨリ W/S 二変針 航走ス 同針路二帰港中 異常ナシ海上稍々 荒シ	航行
12月19日	針路 W/S 二航走中 異常ナシ海上荒シ 同針路二航走中 異常ナシ海上稍々 荒シ	航行
12月20日	針路 W/S 二航走中 四時 WSW 二変針 航走ス 同針路二航走中 異常ナシ	航行
12月21日	針路 WSW 二航走 中異常ナシ 同針路二航走中 異常ナシ海上平穩	航行
12月22日	針路 WSW 二航走 中2時ヨリ W/S 二 変針航走ス 同針路二航走中 異常ナシ海上平穩	航行
12月23日	針路 W/S 二航行 中六時三十分野島 崎燈台 W1/2S 二 見テ針路 1/2N 二 変ズ八時野島崎ヨリ針路 NW/N 1/2 N 二変ジ三崎港ニ 向フ十一時二十五分 三崎入港漁獲 物ノ陸上ヲ始ム 四時三十分漁獲物 ノ陸揚ヲ終リ碇泊 ス西風強シ	三崎港入港
12月24日	碇泊中異常ナシ 七時ヨリ出港準備 二掛リ食料水水 餌等ノ積込ヲ始ム 三崎港ニ碇泊中 異常ナシ風位 N ニテ 風弱シ	三崎港碇泊
12月25日	三崎港ニ碇泊中 異常ナシ十時四十 五分抜錨出港ス 針路 SSE 二定メ 野島崎ニ向フ 三時野島崎ヨリ 針路 E/S 二定メ 漁場ニ向フ NW ノ風 ニテ海上稍々平穩	三崎港出港
12月26日	針路 E/S 二向ツテ 航行中異常ナシ N 風ニテ海上平穩 ナリ 午前二同ジ 八時風位 NE ニ 変ル	航行
12月27日	針路 E/S 二向ツテ 航行中異常ナシ 風位 NE ニテ海上 平穩ナリ 同針路二航行中 四時風位 E 二変ル 海上平穩ニテ風波 ナシ	航行

出羽島のカツオ・マグロ漁と機付帆船第巻号蛭子丸の航海日誌

月 日	記 事	航海状況
12月28日	針路 E/S ニ航走中 異常ナシ海上平穏 同針路ニ續航中 異常ナシ	航行
12月29日	針路 E/S ニ航走中 海上平穏ニテ風波 ナシ 同針路ニ續航中 異常ナシ 風弱ク 海上平穏	航行
12月30日	針路 E/S 續航中 海上荒シ 同針路ニ續航中 異常ナシ海上荒シ	航行
12月31日	針路 E/S ニ續航 中海上荒シ 同針路ニ續航中 異常ナシ海上荒シ	航行
1月1日	針路 E/S ニ航走中 海上荒シ 同針路ニ續航中 異常ナシ	航行
1月2日	針路 ESE 航走中 九時三十分ヨリ投縄 ヲ始ム風位 SSE ニテ海上稍々荒シ 一時ヨリ揚縄ヲ 始メ七時全部揚 終リ漂泊ス八時 ヨリ風位 W ニ変リ 海上荒シ	操業
1月3日	漂泊中五時十分ヨリ 投縄ヲ始メ調査ス 一時三十分ヨリ揚縄 ヲ始メ九時十分終 リ漂泊ス海上稍 々荒シ	操業
1月4日	漂泊中五時十分 ヨリ縄ヲ始ム 海上平穏ナリ 二時ヨリ揚縄ヲ 始メ十時終リ漂 泊ス海上平穏	操業
1月5日	漂泊中五時ヨリ 投縄ヲ始メ調 査ス海上平穏 従事中一時三十分 ヨリ揚縄ヲ始メ 九時二十分終リ 漂泊ス	操業
1月6日	漂泊中五時ヨリ 延縄ヲ始ム 海上稍々平穏 一時ヨリ揚縄ヲ 始メ九時三十分 終リ漂泊ス 海上荒シ	操業
1月7日	漂泊中五時ヨリ投 縄ヲ始ム海上稍々 荒シ 一時三十分ヨリ投 縄ヲ始メ九時終リ 漂泊ス	操業
1月8日	漂泊中五時ヨリ 投縄ヲ始メ従事ス 海上平穏 二時ヨリ揚縄ヲ始メ 九時三十分終リ十時 ヨリ SSE ニ航走ス 海上平穏	操業
1月9日	漂泊中異常ナシ 四時三十分ヨリ投縄ヲ 始ム風位 S ニシテ 風弱ク海上平穏 ナリ 一時ヨリ揚縄ヲ始メ 拾時終ル海上平 穏ニテ風波稍々 弱シ	操業
1月10日	漂泊中五時ヨリ 投縄ヲ始メ従 事ス 二時ヨリ揚縄ヲ 始メ九時四十四分 終リ漂泊ス海 上平穏	操業
1月11日	漂泊中五時ヨリ 投縄ヲ始メ漁業 ニ従事ス海上 平穏 一時三十分ヨリ揚 縄ヲ始メ九時終 リ漂泊シ入港 準備ス海上荒シ	操業
1月12日	漂泊中二時ヨリ W ニ向ツテ微速力 ニテ航走ス海上 荒シ 同針路ニ航走中 異常ナシ	航行
1月13日	針路 W ニ航走中 四時ヨリ W/S ニ 変針航走ス海 上荒シ 同針路ニ航走中 異常ナシ	航行
1月14日	針路 W/S ニ續航中 異常ナシ海上荒シ 同針路ニ續航中 異常ナシ	航行
1月15日	針路 W/S ニ航走中 異常ナシ海上荒シ 同針路ニ續航中 異常ナシ海上次第 平穏トナル	航行
1月16日	針路 W/S ニ航走中 異常ナシ 同針路ニ航走中 異常ナシ海上荒シ	航行
1月17日	針路 W/S に續航中 海上稍々荒シ 同針路ニ航走中 異常ナシ海上荒シ	航行
1月18日	針路 W/S ニ航走中 海上荒シ 同針路ニ續航中 異常ナシ	航行
1月19日	針路 W/S ニ續航 中海上稍々荒シ 同針路ニ續航中 異常ナシ海上荒シ	航行
1月20日	針路 W/S ニ向ケ 帰港中海上稍々 荒シ 同針路ニ航走中 異常ナシ	航行
1月21日	針路 W/S ニ向ケ 帰港中 同針路ニ航走中 一時ヨリ W ニ変針 航走ス	航行
1月22日	針路 W ニ帰港中 海上荒シ 同針路ニ續航中 海上荒キモ異常ナシ	航行
1月23日	針路 W ニ向ケ帰港中 異常ナシ 同針路ニ續航中 異常ナシ海上荒シ	航行
1月24日	針路 W 航走中 十一時三十分ヨリ WNW ニ変針航走ス 同針路ニ續航中 異常ナシ海上荒シ	航行

磯本宏紀

月 日	記 事	航海状況
1月25日	針路WNWニ航走中八時野島崎NWニ見針路NWニ変針ス NWニ航走中零時ヨリNNWニ変針シ三崎ニ向フ三時二十分三崎入港早速漁獲物ノ陸揚ヲ始メ七時碇泊ス	航行 三崎港入港
1月26日	碇泊中 異常ナシ 午前ニ同ジ	三崎港碇泊中
1月27日	三崎港ニ碇泊中 異常ナシ 碇泊中異常ナシ	三崎港碇泊中
1月28日	三崎港碇泊中 異常ナシ 碇泊中異常ナシ	三崎港碇泊中
1月29日	三崎港ニ碇泊中 八時四十分出港 シ野島崎ニ向フ 十一時三十分野島崎ヨリ針路ESEニ定メ 漁場ニ向フ ESEニ航走中異常 ナシ海上平穩ニテ 風波ナシ	三崎港出港 航行
1月30日	針路ESE續行中 海上平穩 同針路ニ續航中 海上稍々荒シ	航行
1月31日	ESEニ續行中 風波高シ 午前ニ同ジ	航行
2月1日	ESEニ續行中 海上稍々荒シ 同針路ニ續行中 海上次第平穩トナル	航行
2月2日	ESEニ續行中 異常ナシ ESEニ續行中 一時ヨリSEニ 変針ス	航行
2月3日	針路SEニ定メ漁場ニ向ツテ航行中 五時ヨリ投縄ヲ始ム 海上平穩ナリ 漁業ニ従事中一時ヨリ揚縄ヲ始メ 拾時終ル拾二時ヨリ ESEニ航走ス海上 SWノ風強ク海上 荒シ	操業
2月4日	針路ESEニ航行 中二時漂泊ス 漂泊中六時ヨリ ESEニ航走ス ESEニ航走中 八時漂泊スNWノ風ニテ海上稍々 平穩ナリ	航行
2月5日	漂泊中五時三十分ヨリ投縄ヲ始メ 調査ス 一時三十分ヨリ揚縄ヲ始メ九時三十分終リ十時ヨリ NE/Eニ航走ス	操業
2月6日	NE/Eニ航走中 五時ヨリ投縄ヲ 始ム 調査中一時ヨリ 揚縄ヲ始メ九時 三十分終リ十時三十分ヨリENEニ航 走ス海上荒シ	操業
2月7日	ENEニ航走中 二時漂泊シ五時ヨリ投縄ヲ始ム 海上荒シ 従事中零時三十分ヨリ揚縄ヲ始メ 九時終リ九時 三十分ヨリENEニ 航走ス	操業
2月8日	ENEニ航走中 五時ヨリ入縄ヲ 始ム海上荒シ 一時ヨリ揚縄ヲ 始メ九時終リ九時 三十分ヨリSEニ航走 ス	操業
2月9日	針路SEニ航走 ス海上荒シ 同針路ニ航走中 四時ヨリESEニ 変針ス	航行
2月10日	ESEニ續行中 五時ヨリ入縄ヲ 始ム 調査中二時ヨリ 揚縄ヲ始メ九 事三十分終リ漂泊 ス海上平穩	操業
2月11日	漂泊中五時ヨリ 投縄ヲ始ム 海上風波ナシ 二時三十分ヨリ 揚縄ヲ始メ十時 三十分終リ漂泊ス	操業
2月12日	漂泊中五時ヨリ 投縄ヲ始ム海上 平穩 二時三十分ヨリ揚 縄ヲ始メ十時終リ 漂泊ス海上平 穩	操業
2月13日	漂泊中異常ナシ 五時ヨリ投縄ヲ 始メ調査ス 風位Sニテ海上 平穩ナリ 二時三十分ヨリ揚 縄ヲ始メ十時三 十分終リ漂泊ス 海上風波ナク平 穩	操業
2月14日	漂泊中異常ナシ 五時ヨリ投縄ヲ始 ムSSW風弱ク海上 平穩ナリ 従事中一時ヨリ 揚縄ヲ始メ九時 三十分終リ漂泊ス SSWノ風弱ク海上 平穩ナリ	操業
2月15日	漂泊中二時機関 ヲ始動シ針路NWニ航走シ四時三十分ヨリ投縄ヲ始ム 一時ヨリ揚縄ヲ 始メ九時三十分終リ 早速入港準備ヲ シ十時ヨリ針路 W1/2Nニ定メ野 島崎ニ向フテ 航走 ヲ始ム海上平穩 ニテ風波ナシ	操業
2月16日	針路W1/2Nニ向ツテ 帰港中異常ナシ 風位SWニテ風弱ク 海上風波ナシ 同針路ニ帰港中 異常ナシ四時風位 Sニ変ル	航行
2月17日	針路W1/2Nニ帰港 中風位N海上平穩 ニテ異常ナシ 同針路ニ帰港中 四時風位NWニ変ル 海上平穩ニテ異常ナシ	航行
2月18日	針路W1/2Nニ向ツテ 帰港中異常ナシ 風位SWニテ海上 平穩ナリ W1/2Nニ向ツテ帰港 中異常ナシ風位 WSWニテ風弱ク 海上平穩ナリ	航行
2月19日	針路W1/2Nニ航走中 異常ナシ海上稍々 平穩ナリ W1/2Nニ航走中異常ナシ 海上稍々平穩ナリ	航行
2月20日	針路W1/2Nニ帰港中 異常ナシ 同針路ニ航走中 異常ナシ海上稍々 平穩ナリ	航行

出羽島のカツオ・マグロ漁と機付帆船第巻号蛭子丸の航海日誌

月 日	記 事	航海状況
2月21日	針路 W1/2N ニ航走中 異常ナシ 同針路ニ航走中 異常ナシ	航行
2月22日	針路 W1/2N ニ航走中 異常ナシ 同針路ニ航走中 十一時ヨリ NW ニ変ズ 海上少々荒シ	航行
2月23日	針路 NW ニ航走中 異常ナシ七時三十分 三崎入港碇泊ス 三崎港碇泊中 異常ナシ	三崎港入港
2月24日	三崎港碇泊中 異常ナシ 三崎港碇泊中 異常ナシ	三崎港碇泊中
2月25日	三崎港碇泊中異常 ナシ 三崎港碇泊中二時 三十分出港針路 SSE ニ定メ野島崎ニ向フ 五時四十分野島崎ヨリ 針路 SE/E1/2E ニ定メ 漁場ニ向フ海上平穩 ニテ風波ナシ	三崎港出港
2月26日	針路 SE/E1/2E ニ 航走中異常ナシ 海上平穩ナリ 同針路ニ航走中 異常ナシ	航行
2月27日	針路 SE/E1/2E ニ 航走中風位 S ニ変リ 海上少々荒シ 同針路ニ航走中 異常ナシ	航行
2月28日	針路 SE/E1/2E ニ 航走中異常ナシ 海上風波高シ 午前ニ同ジ	航行
3月1日	針路 SE/E1/2E ニ 航走中海上次第 平穩トナリ 同針路ニ航走中 異常ナシ海上平穩 ナリ	航行
3月2日	針路 SE/E1/2E ニ 續航ス海上平穩 ニテ風波ナシ 同針路ニ航走中 水温高ク四時ヨリ ESE 変針航走ス 海上少々平穩ナリ	航行
3月3日	針路 ESE ニ航走 中異常ナシ海上 平穩ナリ 同針路ニ航走中 異常ナシ	航行
3月4日	針路 ESE ニ航走 中四時ヨリ E ニ変ジ 航走ス海上少々 平穩ナリ ESE ニ航走中 六時ヨリ NNE ニ航走シ水温高ク 九時ヨリ二度 N ニ変ジ航走ス風位 S ニテ海上少々平穩ナリ	航行
3月5日	針路 N ニ航走中 五時ヨリ NE ニ航走 拾時水温十八度 トナリ投縄ヲ始ム 一時三十分ヨリ揚縄ヲ始メ十時終リ 針路 SE ニ航走シ 十二時機関ヲ止メ 漂泊ス海上少々 平穩ニテ異常ナシ	操業
3月6日	漂泊中異常ナシ 四時三十分ヨリ投縄 ヲ始ム 二時ヨリ揚縄ヲ始メ 九時終リ漂泊ス 海上少々平穩ナリ 漂泊中異常ナシ	操業
3月7日	風位 W ニテ海上少々 荒シ漂泊中異常ナシ 五時ヨリ投縄ヲ始ム 水温十八度五分 二時ヨリ揚縄ヲ 始メ九時終リ十時 ヨリ S ニ航走ス 風位 W ニテ海上 荒シ	操業
3月8日	針路 S ニ五時迄 航走シ五時ヨリ 投縄ヲ始メ調査ス 水温十七度五分 ヨリ十八度 二時ヨリ揚縄ヲ始メ 九時終リ十時ヨリ 針路 S ニ航走ス 海上少々平穩ナリ 十二時漂泊ス	操業
3月9日	漂泊中異常ナシ 五時ヨリ投縄ヲ始ム 水温十七度ヨリ十七度 八分 WNW ノ風強ク 海上荒シ 調査中十一時ヨリ 揚縄ヲ始ム六時 終リ漂泊ス四時ヨリ風位 NW ニ変リ海上 荒シ	操業
3月10日	漂泊中異常ナシ 風位ニテ海上 少々平穩ナリ 五時ヨリ投縄ヲ 始ム 二時三十分ヨリ揚縄 ヲ始メ九時三十分終 リ十時ヨリ針路 SE ニ航走ス海上平穩 ニテ風波ナシ	操業
3月11日	SE ニ航走中二時 ヨリ機関ヲ止メ 漂泊ス四時三十分 ヨリ投縄ヲ始ム 海上平穩ニテ風波 ナシ 二時ヨリ揚縄ヲ始メ 八時四十分終リ 九時ヨリ W ニ航走 ス海上平穩ニテ 風波ナシ	操業
3月12日	針路 W ニ航走中 四時ヨリ W/S ニ変ズ 海上少々平穩ナリ 針路 W/N ニ航走 中八時ヨリ W/N ニ 変ズ風位 W 及 WNW ニ変リ海上稍 ヶ荒シ	航行
3月13日	針路 W/N ニ航走 中一時機関ヲ止メ 漂泊ス四時三十分 ヨリ投縄ヲ始ム 水温十八度 二時三十分ヨリ揚 縄ヲ始メ十時三十分終リ十一時ヨリ W ニ航走ス海上 少々平穩ナリ	操業
3月14日	針路 W ニ航走中 四時ヨリ WSW ニ変ズ 風位 SW ニテ海上 少々平穩ナリ 針路 WSW ニ航走 中異常ナシ海上 少々平穩ナリ	航行
3月15日	針路 WSW ニ航 走中六時ヨリ投 縄ヲ始ム 水温十八度 二時ヨリ揚縄ヲ始メ 九時十分終リ十時 ヨリ W ニ航走ス 海上平穩ニテ風波 ナシ	操業
3月16日	針路 W ニ航走中 五時ヨリ投縄ヲ始ム 水温十八度二分 二時ヨリ揚縄ヲ始メ 九時終リ十時ヨリ W ニ航走ス海上 平穩ニテ風波ナシ	操業
3月17日	針路 W ニ航走中 二時漂シ五時 ヨリ投縄ヲ始ム 漁業ニ従事中二時 三十分ヨリ揚縄ヲ始 メ九時四十分終リ 漂泊ス	操業
3月18日	漂泊中五時ヨリ 投縄ヲ始ム 二時ヨリ揚縄ヲ始メ 八時三十分終リ早 速入港準備シテ 九時ヨリ針路 W 1/2N ニ航走ス	操業
3月19日	針路 W1/2N ニ航走ス SE ノ風弱ク海上少々 平穩ナリ十二時ヨリ 風位 SSE 変ルモ海 上平穩ナリ W1/2N ニ航走中 異常ナシ	航行

月 日	記 事	航海状況
3月20日	針路 W1/2N ニ航 走中異常ナシ 同針路ニ續行中 海上稍平穩ナリ	航行
3月21日	W1/2N ニ航走中 十二時ヨリ WNW ニ変針ス 針路 WNW ニ 續行中海上稍々 平穩ナリ	航行
3月22日	針路 WNW ニ 航續中海上荒シ 同針路ニ航走中 異常ナシ	航行
3月23日	針路 WNW ニ航走 中四時ヨリ W1/2N ニ 変針ス 同針路ニ航走中 異常ナシ十一時二十 ^(ママ) 分野崎 NW/N1/2 Nニ変針シ三崎ニ 向フ	航行
3月24日	針路 NW/1/2N ニ 航走中二時四十分 三崎入港シ五時 ^(ママ) ヨリ漁獲物ノ陸揚 ヲ始メ八時三十分終 ^(ママ) リ碇泊ス 碇泊中異常ナシ	三崎港入港 三崎港碇泊

(3) カツオ漁の一航海の事例 (5月5日～5月13日)

カツオ漁で出港した5月5日から再び三崎港に帰港する5月13日までを、カツオ漁での航海の一事例として追ってみたい。

5月6日の午前4時30分より「鰹漁」を始め、「ピンチヨ (ピンナガマグロか)」450尾の漁獲を得ている。午後6時には操業を終えたのか、機関を停止し漂泊している。翌5月7日にも同様に早朝より「鰹漁」を始め、「ピンチヨ」200尾を漁獲している。以後も連日昼間には操業を続けるが、5月8、9日には群に当たらず、10日に再び「ピンチヨ」の漁獲を得ている。午前10時に200尾、午後3時に150尾を漁獲している。5月11日には午前8時に150尾、午後4時に200尾を漁獲、翌12日には群に行き当たらず、午後5時より入港準備をして北西方向に向けて帰路につく。5月13日午前7時10分に野島崎、次いで午前10時10分に三崎港に入港し、すぐに漁獲物の陸揚げを開始し、午後0時にはその作業を終えている。

なお、「鯨付キ」や「鯨鯨付キ」の語が表2の記事中に出てくるのは、このカツオ漁の期間だけである。鯨や鯨について泳ぐカツオの魚群のことで、大漁となることが多い。

カツオ・マグロ漁船の元船員への聞き取り調査によると、カツオの群を探すときには海上で海鳥が集まる場所を探すか、鯨や鯨の群を探すという。これらの周囲にはカツオの大群がいることが多いからである。また、「餌付キ」という語も出てくるが、カツオの場合、群に遭遇してもカツオが空腹時でないといへば餌への食いつきが悪く、ほとんど漁獲を得られないこともしばしばあり、「餌付きワルク」漁が少ないといった記事になっている。

(4) カツオ漁での三崎から石巻への移動

カツオ漁でも三崎港を根拠とし続け、航海日数がマグロ漁に対して少ないことから、より近海で漁を行っていることを想定できる。「鰹漁」として漁獲しているのは、「ピンチヨ」「鰹」である。

表3 季節による航海および操業日数の比較
※昭和9年～10年の第一鯉子丸の航海日誌および本稿表2による。

月 日	航海日数 (日)	往路航行 (日)	操業 (日)	操業間の航行 (日)	復路日数 (日)	主な漁業種	出漁港
3/29 - 4/24	25	7	12	1	5	マグロ漁	三崎
5/5 - 5/13	9	1	7	0	1	カツオ, ピンチヨウ漁	三崎
5/14 - 5/23	10	1	8	0	1	カツオ, ピンチヨウ漁	三崎
5/24 - 6/1	9	1	7	0	1	カツオ, ピンチヨウ漁	三崎
6/2 - 6/14	13	1	9	0	3	カツオ, ピンチヨウ漁	三崎
6/15 - 6/24	10	1	6	0	3	カツオ, ピンチヨウ漁	三崎
6/27 - 7/6	10	1	6	0	3	カツオ, ダルマ (メバチマグロ若魚) 漁	三崎
7/8 - 7/22	15	1	12	0	2	カツオ漁	石巻
7/23 - 8/3	12	2	9	0	1	カツオ漁	石巻
11/1 - (不明)	—	5	10以上	1	0	マグロ漁	三崎
(不明) - 12/23	—	4以上	12	—	8	マグロ漁	三崎
12/25 - 1/25	32	8	10	0	14	マグロ漁	三崎
1/29 - 2/23	25	5	11	1	8	マグロ漁	三崎
2/25 - 3/24	28	8	12	2	6	マグロ漁	三崎

ところが、7月8日に三崎港を出港した航海では、7月22日には石巻港に入港している。漁獲物の水揚げや補給等の記述はないが、翌23日には石巻港近くの福貴浦でカツオ釣り用の餌を生けている。その後、それまで同様にカツオ漁を継続し、次の石巻入港が8月3日午後であった。季節によるカツオの魚群の動きにあわせて移動したのか、根拠地を変えていることがわかる。

(5) 出羽島帰港と休漁

8月5日に石巻港出港後、漁を行うことなく三崎港に向けて移動し、さらにしばらく碇泊した後、8月9日に三崎港を出港し、翌10日には鳥羽港に入港している。鳥羽港に入港後、青峯山に参拝している。青峯山正福寺は、多くの漁業関係者により信仰され、大漁や航海の安全を祈願のため絵馬や護摩札が奉納されている。漁業者として、航海安全や大漁祈願等を目的とした参拝であると考えられる。同日午後5時20分に鳥羽港を出港していることから、青峯山に参拝するためだけに鳥羽港に立ち寄ったものと考えられる。

その後、8月11日には出羽島港に入港して碇泊後、高知県久礼港にその目的は不明であるが、半日立ち寄り、再び出羽島へもどっている。次に8月16日には徳島港へ移動し、徳島港で1ヶ月以上碇泊させていると想定される。この間の航海日誌の記事の記述はなく、天候、晴雨計、寒暖計、風の方位及び風力のみが書かれる。

(6) 秋から冬のマグロ漁

再び記事の記述が始まるのが、10月31日の三崎港碇泊中の記事である。4月以来のマグロ漁を再開する。この間、11月19日から29日までの間、日誌上では記事の空欄が続くが、前後関係から、操業の後、いったん帰港し、再び出港した11月30日の航行に続くものと考えられる。

この間の操業については、(1)で紹介したものとはほぼ同様の内容となる。確認できる範囲では、12月25日、1月29日、2月25日にそれぞれ三崎港を出港する航海では、漁場への往復にそれぞれ約1週間ずつ、操業には10日から12日ほどを要し、一航海あたり約1ヶ月をかけている。正確な漁場の位置把握はできないが、航海中の針路と航海日数から南洋の比較的穏やかな漁場で操業していたと考えられる。

なお、新暦の正月や旧暦の正月（昭和10年の場合、2月4日が旧暦1月1日にあたる）も休まず操業を続けている。

(7) 年間漁業サイクル

表2から、夏のカツオ漁、冬のマグロ漁、秋の休漁期間といった年間サイクルを確認できる。こうしたサイクルについては、同資料から昭和7年～12年の間のほかの年についてもほぼ同様に確認できるし、筆者による出羽島における聞き取り調査では他船でも同様の傾向があることを確認した。

では、夏と冬の漁ではどのような違いがあるか、表3により確認したい。表3は表2にもとづき、航海日数と航海状況について整理した。表3では、冬のマグロ漁での航海日数は25日から32日と1ヶ月前後を1航海とするのに対し、夏のカツオ漁では9日から15日と比較的短期間である。また、夏は漁場の往復に要する時間も短い。冬には片道1週間ほどを要していたのに対し、夏には出港翌日から操業を開始している。操業日数も冬のマグロ漁では10日～12日であり、夏のカツオ漁の1週間前後よりも長い。

漁場の位置の記録はないが、冬のマグロ漁の場合三崎港から遠方まで出漁するのに対し、夏のカツオ漁は出漁港の近海を漁場としていた。ただし、いずれも三崎港から南東方向の太平洋上を漁場にしていただことは読み取ることができる。石巻港を出港した場合は、東南東方向に出港している。

おわりに

以上では、出羽島の、あるいは出羽島出身者によるカツオ・マグロ漁について、機付帆船第壹号蛭子丸の「船用航海日誌」を中心として、出羽島における聞き取り調査による情報で補完しながら、昭和初期のカツオ・マグロ漁の状況を確認した。

漁民の移動を前提としたカツオ・マグロ船の船員という生業は、出羽島の重要な生業であった。こうした移動と漁撈活動の詳細な把握は、離島の生業構造を考察する上で欠くことのできないものである。

今後の作業は、本稿で行った昭和初期の状況把握を足がかりにして、終息へ向かうまでの出羽島の遠洋漁業の変遷を探ることであり、出羽島のカツオ・マグロ漁業の通時的把握である。とくに近現代の船員の場合、移動しながら漁撈活動を展開し、下船後には他所へ定住する、もしくは帰郷して定住するといった経歴をたどってきた。詳細な聞き取り調査や関連資料により、カツオ・マグロ漁業とそれにかかわった船員の生活実態について明らかにする作業を進めたい。

引用文献

- 磯本宏紀. 2012. 館蔵資料 遠洋漁業の航海日誌. 徳島県立博物館ニュース, (87):6.
- 磯本宏紀. 2004. 出羽島の拾い親慣行. 徳島地域文化研究, (2):166-167.
- 川島秀一. 2005. ものと人間の文化史 127・カツオ漁. p. 21+343+4. 法政大学出版局, 東京.
- 牟岐町史編集委員会編. 1976. 牟岐町史. 1382p. 牟岐町, 牟岐.
- 徳島県漁業史編さん協議会編. 1996. 徳島県漁業史. 1340p. 徳島県漁業史編さん協議会, 徳島.